

早川町 住民対話集会② 議事録

開催概要

| | |
|----|-------------------------------------|
| 日時 | 令和 7 年 10 月 22 日（水） 15 : 00～17 : 00 |
| 場所 | 早川町役場 |

1. 町長によるまちづくりに対する方針説明（要旨）

基本的な考え方

- アンケート結果に見られる高い「幸福度」を重視し、人口減少下にあっても、住んでいる住民が安心して幸福を感じ、最後まで住み続けられるまちづくりを目指す。
- 行政は常に町民に寄り添い、政策の中心に町民を置くことを基本姿勢とする。

具体的な 7 つの取り組み

地域資源の活用（空き家・リニア・トンネル効果）

- 空き家対策：**空き家を「資源」と捉え、リノベーションや起業支援とセットで活用を進める。
- 大型事業の波及効果：**リニア開通や、奈良田・芦安間のトンネル開通（周遊ルート確立）による波及効果を最大化し、町に利益をもたらす仕組みを構築する。

地域を守り若者を育てる（教育）

- 学校は地域を守る要であるため存続させるが、小規模校ならではの教育改革が必要。
- 教育委員会に対し、現状に即した大胆な教育のあり方の検討を求めている。

地域で生きていくための生業（産業）

- 農林業・観光業を問わず、高付加価値化（例：特産品や伝統野菜）を図り、町外からの起業家も受け入れられる環境を作る。

医療体制の維持（病院）

- 飯富病院（構成市町で運営）は経営が悪化しており、再編が必要。
- 「診療所化」の方向で検討が進んでいるが、救急対応や必要な診療科目は残し、住民の命を守る体制は維持する。

災害対応（孤立化防止）

- 道路崩落による集落孤立化のリスクが高いため、防災計画を早急に見直す。
- 特に「情報の孤立」を防ぐため、通信手段（スターリンクなど）の確保を進めるほか、雨畑ダムの土砂問題についても国と連携し対応を続ける。

持続可能な財政基盤の確立（行財政改革）

- 55 の事業に絞り込み事業検証を行い、補助金・委託料の見直しや職員の意識改革を進め、将来にわたって生き残れる財政基盤を作る。

2. 住民との意見交換

報告および町長の方針説明を受け、参加者との間で以下の意見交換が行われた。

アンケート・調査について

| 住民の意見・質問 | 行政の回答・見解 |
|---|--|
| 今回のアンケートは他市町村と比較できる早川町独自のものか。 | 基本は独自作成だが、幸福度などの指標は山梨総研が持っているデータを活用し、他自治体と比較可能な形式にしている。早川町の幸福度は他と比較しても特に高い結果が出ている。 |
| 過去のデータで人口流出（社会減）が多いとされていたが、人口減少と幸福度の高さに因果関係はあるのか。 | 統計的な因果関係までは分析中だが、住みやすさの評価と主観的な幸福度の間には差があると感じている（不便でも幸せを感じているなど）。 |

教育・山村留学・移住について

| 住民の意見・質問 | 行政の回答・見解 |
|--|---|
| 山村留学制度について、以前より参加者が減少し、制度の勢いがなくなっているように感じる。子どもたちが高校進学時に住宅を出なければならず、町外へ流出してしまうケースが多い。住宅支援の拡充はできないか。 | 情報発信やマッチングを行っているが、参加増には繋がっていないのが現状。英語教育強化などの特色づくりを進めている。住宅に関しては、原則中学生までだが、空き状況に応じて柔軟に相談に乗り、高校生でも住み続けられるよう対応したい。 |
| 教育の特色として「英語」はどこでもできる。早川町ならではの自然体験（夜の観察会など）こそが都会の人にとっての価値であり、そうした体験活動を充実させてほしい。 | 貴重な意見として承る（文脈より）。 |
| 移住者の誘致を推進してほしい。 | 家屋改修制度の見直しを含め、移住者増加策を検討していきたい。 |

産業振興・観光・地域資源の活用

| 住民の意見・質問 | 行政の回答・見解 |
|---|--|
| 赤沢宿の旅館の構造は他地域にはないものなので、強くアピールしてほしい。 また、角瀬トンネルを出たところにある看板の位置が状態も良くないのではないか。 | パンフレットなどで赤沢の旅館の特徴をアピールすることを考える。考えるについては、位置や内容設置者を確認しながら、見やすいものになるよう検討していきたい。 |

| 住民の意見・質問 | 行政の回答・見解 |
|---|--|
| 糸魚川静岡構造線について、新倉断層以外の箇所の調査を進めてほしい。またアピール方法も考えてほしい。 | この冬に文化庁職員に来庁してもらうので、指導を受ける。また、慶雲館下の断層も文化財的価値があるか判断してもらう予定。 |
| 森林環境贈与税を使って、千須和の裏山の森林整備をお願いしたい。 | 担当課で状況確認をし、県への要望または他の補助金制度等も含めて対応を検討していきたい。 |
| 遊休農地対策として、土地改良事業を推進してほしい。 | 町が土地改良事業を主導することはないので、地権者から要望があれば応援していく。 |
| 町内に雇用を生むような起業を誘致してもらいたい。 | 企業が入ってくる条件を整えることが難しい。早川町の地形でも成り立つ企業ができれば声掛けしていきたい。 |
| 起業家の受け入れを積極的に進めてほしい。 | 起業を希望している人がいたら、役場に積極的に相談するよう伝えてほしい。 |

インフラ・その他

| 住民の意見・質問 | 行政の回答・見解 |
|---|--|
| 奈良田・芦安間のトンネル工事について、開通予定が延び続けている理由は何か。 | 中部横断自動車道との接続を考慮した周遊道路としての整備計画や、崩落対策工事の影響で遅れている。事業費も増大しており（80 億→220 億）、現在の開通見込みは 2033 年頃だが、財源などの課題もあり不透明な状況である。 |
| 住民対話集会終了後に、参加者へのアンケート（感想や次回参加意向など）を実施してはどうか。次回の改善につながる。 | 有効な意見として検討する（文脈より）。 |
| 米無入口に町が設置している観光看板付近に水溜りが出来ているので整備してもらいたい。 | 早急に確認し、対応します。 |
| 県道を通行するダンプが多いので河川内道路を増やしてもらいたい。 | 基本は県道通行になります。そのため、道路清掃等を徹底するように事業者に応し入れをしていく。 |
| 河川内樹木が多く、対岸の集落が見えにくい状況。せっかくの景観がもったいないと思う。 | 県で毎年整備しているので、具体的な場所を示していただければ、県へ要望していく。 |
| 空き家対策は、集落の意向を聞きなが | 対策を整えて、きっちりやっていく。 |

| 住民の意見・質問 | 行政の回答・見解 |
|------------------------------------|----------|
| <p>ら進めないと難しいので、マッチング等から進めてほしい。</p> | |